



税の作文で表彰されました!!

12月8日、和歌山納税貯蓄組合連合会および国税庁が主催する『税についての作文』において、本校の2年生4名が、和歌山税務署長賞をはじめとする各賞を受賞しました。校長室で行われた表彰式では、生徒たちの努力と豊かな発想力が称えられました。

この作文コンクールは、和歌山県内で毎年開催されており、全国的な租税教育の一環として、高校生が税の役割や意義について考える貴重な機会となっています。税がどのように社会を支えているのかを自分の言葉で表現することで、未来を担う若者が税の大切さを理解することを目的としています。



今回の取り組みを通じて、生徒たちは税の仕組みや使い道を深く考え、社会とのつながりを実感しました。表彰式後には、それぞれが作文に込めた思いや学びを笑顔で語り、税の重要性を改めて感じた様子がとても印象的でした。

日本学生科学賞で県知事賞、県議会議長賞を受賞！

和歌山市で行われた第69回日本学生科学賞（読売新聞社主催、旭化成協賛）の県審査において、本校の生徒5人による「2種の外来魚の生息環境と食性調査」が最高賞である県知事賞に輝きました。（左写真）研究では、紀の川でも確認されている特定外来生物のオオクチバスとブルーギルの食性や生息環境を詳細に調査し、地域の生態系保全に資する成果をまとめています。さらに、本校の生徒4人による「カエデの種子を応用した風力発電の風車の開発」も県議会議長賞を受賞し、向陽高校からは2つのチームが上位入賞を果たしました。（右写真）



SSH ラボツアーⅢ 京大・阪大を訪問しました！

11月18日（火）1年生希望者を対象に「ラボツアーⅢ（研究室訪問）」を実施しました。今回のテーマは「先端科学・地球環境」。科学への興味をさらに深め、グローバルな視野と科学的思考を育むことを目的に、2コースに分かれて京都大学と大阪大学の研究施設を訪問しました。京都大学コースでは「理学研究科」と「医生物学研究所」を見学し、生命科学や基礎研究の現場を体感しました。大阪大学コースでは「接合科学研究所」と「産業科学研究所」を訪問し、最先端の材料科学や産業技術に触れました。さらに、両コースともに本校卒業生との交流会があり、大学生活や研究の魅力について直接話を聞く貴重な機会となりました。大学の紹介や進路選択の理由、高校時代の課題研究、大学での研究内容、後輩へのアドバイスなど、リアルな声を聞くことができ、進路を考えるうえで大きな刺激となりました。



向陽高校公式「note」を開設しています。

向陽高校の情報はこちちらでも発信しています。 <https://koyo-h.note.jp/>

♡スキを押して応援をよろしくお願ひします。

向陽 note



